令和3年度

バドミントン競技大会実施時における

新型コロナウイルス感染症対策について

令和３年４月１日

千葉県小学生バドミントン連盟

１．基本的な考え方

 　この対策の基本的な考え方は、国、スポーツ協会、公益財団法人日本バドミントン協会等が示すガイドライン等を基本に作成した。バドミントン競技の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施にあたっては、競技特性に応じた対応の必要性を最大限尊重し作成した。

２．大会開催への配慮及び準備に関する留意事項

（１） 大会関係者について

大会関係者（大会に関わる人）とは、選手だけでなく、チームスタッフ・大会スタ ッフ、保護者までを対象とする。

・選手及び指導者、大会スタッフ等の関係者の総数を想定して検討する。

・運営スタッフ等の体調確認を行う。

運営に関わる全てのスタッフの検温を実施し、書類（大会関係者用：別紙１／個人用：別紙２）による体調の確認を行う。又利用施設の確認意向事項にも留意して内容を同じくする別様式を作成しても良い。

・大会関係者は、常時マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策も講じる。

・感染状況により、入場者についての制限をするものとし、無観客で実施することもある。

（２） 会場内使用する物品の確認

感染拡大予防として、各所で使用する物品（消毒薬、遮蔽用具、清掃用具等）を事前に確認し準備する。その際、主催者側と開催施設側で準備する範囲等を明確にする。

**（３） 式典等、運営の簡略化**

・開会式、閉会式は最小限の規模で実施する。表彰式は密になる状態を避け、簡略化して行うこととする。

・監督会議は開催せず事前の資料配付により周知する。実施する場合は、参加人数を最小限とする。。

（４） 大会会場内に関する確認及び準備事項

会場の使用方法等については、施設管理者（自治体・指定管理者等）と十分に協議の上、実施内容や役割を決める。

１）会場出入口等

・ドアを常時開放する（換気とドアへの接触を防ぐため）。

・開場時に人数を区切って入場させる（選手の来場時間を分ける）。

・下駄箱の利用を禁止する（各自袋を持参し自己管理を基本とする）

・感染状況により無観客の場合は、選手の来場時間を分けることを施設側へ伝える。

・密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示は行わない。

２）トイレ、手洗い場所

トイレ（洗面所）は感染リスクが比較的高いため、以下に配慮する。

・関係者が触れると考えられる場所（洗面台、ドアノブ等）をこまめに消毒する。

・洗面所には、石鹸（ポンプ型が望ましい）やアルコール等の手指消毒剤を用意する。

・手指乾燥機は使用しない。

３）更衣室、食事・休憩・待機スペース（参加者）

・更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。

・更衣室の規模により、人数制限（定員）を決める（施設管理者との協議）。

・食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、場所を指定し、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。屋外を推奨する。

・参加者の待機スペースは、利用可能範囲を示し、使用場所を指定し席の移動を禁止する。

・定期的な消毒を行う。

４）大会本部及び関係者控室

・大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。

・関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。

・可能な限り常時、窓や扉を開放する。難しい場合は、換気をこまめに行う。

・運営物品や共用物等は、定期的に消毒を行う。

**５）競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類等**

バドミントンの大会は体育館内で行われるため、換気については特に配慮が求められます。また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、開催期間の前後を含む継続した対応が必要です。

・遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。

・窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。なお、常時換気できる設備がある場合は、可能な限り使用する。

・コートサイドには、選手が使用するカゴやドリンクケースを設置せず、各自バッグを持参させ、飲み物も各自バッグに収容させる。

**・**個人戦のコーチ席は１席とする。

・コートのモップ掛けは、ゲーム毎と試合終了後に行う。

・毎試合終了後、審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ席・サービス高測定器・得点板等を消毒する。

・選手集合所は設けないが、運営上やむを得ない場合は密を避けるよう十分配慮する。

・団体戦において、コート集合後のオーダー確認とあいさつはサービスラインに整列して行うものとする。

・団体戦のチームベンチは、隣との間隔を広くとること。(1コートあたりの椅子の数を減らす)

・オーダー交換は通常通り対面でのチェック、交換とするが、遮蔽のためのシート等を準備する。

６）競技関係者及び競技中の確認事項

・主審、サービスジャッジ、線審、得点係等は、マスク等を着用する。

（水分補給を促し、熱中症対策を講じる）

・試合終了後、線審または得点係は、審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ 席・サービス高測定器・得点板等を消毒する。

・サービスジャッジ、線審、得点係は手袋（ビニール/ゴム）を使用する。

・選手同士や審判員との握手は行わない。

・トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。

・コールは、必要最小限とする。

⇒「プレイ」「フォルト」「レット」「ゲーム」等のみで行う。

⇒サービスジャッジは、違反の種類を示す指定の合図を行い、コールはしない。

⇒線審は、指定の合図を行い、コールをしない。

（主審とのアイコンタクトが重要）

⇒得点板がある場合は、ポイントのコールをしない。

・シャトルの交換は、選手がシャトルを直接筒から取り出すか、選手が一定の距離にきたら、投げて渡す。シャトルの交換時は、選手が回収ボックスに入れる。

７）入場者の管理

・発熱者の入場を禁止する（外出前の検温の徹底または、入場時の検温を行う）。

・無観客試合の場合の入場は大会にエントリーされた競技者、役員、審判員、補助員とする。

・入場者は指定された席に着席するものとし、応援は、声援不可で拍手のみとする。また、席を移動しての応援や手すりからの応援は不可とする。

・会場内での諸注意等を事前周知する。

８）ゴミの処理

感染症拡大防止の観点からゴミは原則各自持ち帰り、自宅で処分するものとする。

ただし、大会運営上発生したゴミは、マスク・手袋を着用した上で回収し破棄する。作業後は、

必ず手を洗い、手指を消毒する。

３．大会の参加者に求める留意事項

参加者に求める感染症拡大防止における以下の措置を周知する。

（１）次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる

１）体調がよくない（例：発熱・咳・倦怠感などの症状がある）

２）同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

３）過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

（２）マスクの持参・着用

 競技を行っていない時、会話をする時にはマスクを着用する

（３）手洗い、アルコール等による手指消毒等による日常の感染症予防の実施

（４）他の参加者、大会関係者等との距離の確保（できるだけ 2m 以上）

（５）大きな声での会話や応援（声援）の禁止

（６）参加者把握のため、氏名・連絡先等の個人情報取得及び指定した様式にて当日回収し、保管を行う。

（７）感染防止のための措置の遵守

４．大会当日の受付時に関する留意事項

 　大会当日の受付時に参加者が密な状態となることを防止し、安全に大会を開催するため、以下について配慮する。

（１）受付場所には、アルコール等の手指消毒剤を準備する

（２）人が対面する箇所には、遮蔽物（アクリル板等）を設置する

（３）共用物品は定期的に消毒を行う

（４）受付担当者はプログラムや関係資料のなどを受け取ったり手渡ししたりするため、

マスク及び手袋の着用などを行い、受け渡す時も机にいったん置き、置いた物を受け取るような対応を行う

（５）参加者が距離をおいて並べるように目印等を付ける

（６）棄権の連絡は速やかに電話で行い、指示を受ける。

（７）発熱や咳など体調不良の症状がある人は入場させない。

**５．大会参加者に関する留意事項**

主催者は、感染拡大防止による大会運営方法や会場の使用方法等を大会参加者に周知する。

（１）受付時に、健康状態確認シート（自宅および会場で検温）を提出する

（２）棄権時は、会場に行かず、メール及び電話等で連絡する

（３）外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない

（４）プレー中の選手以外はマスクを着用する

（５）更衣室では、着替えのみとしシャワー・ロッカーは使用しない

（６）更衣室は、定員を指示し、その定員内で使用する。

（７）観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行い、席を移動しない

（８）観戦中の応援は、声を出さず拍手などで行う。席を移動しての応援はしない

（９）ウォーミングアップは距離をあけて行う

（１０）コートへの入退場は、それぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する（移動の際は2m 以上の間隔を空ける）

（１１）コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに収容する。こぼした時は、モップ等で拭きとる（自分のタオルを使用して拭かない）。

（１２）ラケット・タオル等の用具の貸借はしない

（１３）床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する

（１５）シューズの裏を手で拭かない

（１６）意識的に試合中の声出しはしない

（１７）プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わない

（１８）マッチ中インターバル時のコーチングは選手と一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。

（１９）ゴミは全て持ち帰り自宅で処分する

（２０）自身の試合が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに退館する

６．その他の留意事項

 大会関係者から感染者が発生した場合の備え、個人情報の取扱いに十分注意し、大会当日に大会関

係者から提出された書面や大会申込み用紙を１か月以上は保管し、速やかに確認・提出可能な状態

にしてください。 また、大会終了後に、大会関係者から感染症を発症したとの報告があった場合や

会場 周辺の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体

（保健センターなど）とあらかじめ検討しておく。

当日の確認事項　別表１（日本バドミントン協会ガイドラインより）

|  |
| --- |
| 大会関係者向け |
| □ | マスクの適切な着用がされている |
| □ | 会場の換気が適切に実施されている（定期的な換気又は窓・ドアの開放 ） |
| □ | 各所ドアの常時開放（ドアへの接触を防ぐため） |
| □ | 下駄箱の利用禁止（各自ビニール袋で自己管理） |
| □ | 入場可能者の管理・チェック（特定できない人が入らない様にする） |
| □ | 入場制限（当日周知掲示） |
| □ | 受付担当者はプログラムや関係資料などを受け取ったり手渡したりするため、手袋の着用など着用を検討されている（受け渡す時に、机にいったん置いたものを受け取ってもらうようにするなどの対応を取る等） |
| □ | 人と人が対面する場所（受付・本部席等）密にならないような工夫がされている十分なスペースが確保できない場合は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽されている（定期的な消毒を実施する） |
| □ | 会場内で、咳など体調不良の症状がある人の巡回を行う（必要に応じて検温し、帰宅してもらう） |
| □ | 全てのゴミの持ち帰りの事前周知（場合によってはゴミ箱の撤去をする） |
| □ | 利用者に食事場所が周知されおり、遵守されている |
| □ | 役員審判控室や更衣室・洗面所など人数制限を行い、適切に守られている |
| □ | 更衣室・洗面所の利用ルールが守られている |
| □ | 待機位置の目印や案内の設置 |
| □ | 選手控え利用場所の観客席などの区画指定、案内がされている |
| □ | 各所に消毒剤が適切に準備・設置されている |
| □ | 施設の定期的な消毒（洗面台・観客席・手すり・机・椅子等）がされている |
| □ | 筆記具・ボード、など共用品の定期的な消毒がされている。 |
| □ | 試合終了後、審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ席・サービス高測定器・得点板等を消毒のうえ、コートにモップを掛けて退場している  |

当日の確認事項　別表2（日本バドミントン協会ガイドラインより）

|  |
| --- |
| 選手向け |
| □ | 外出前に健康状態確認シートは記入する（受付時に提出） |
| □ | 37.５℃以上で、体調に異変を感じた時には参加を中止する（棄権の時は会場に行かず、メール及び電話で伝える） |
| □ | 外履きは袋に入れて自分の手元に置く（下駄箱の使用しない） |
| □ | 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行い、席は移動しない |
| □ | 待機時など試合以外はマスク着用する。 |
| □ | ウォーミングアップは、距離を空けて行う。 |
| □ | コートへの入退場時は一定の距離を保った上で、指定の時間にコートに入る |
| □ | 挨拶の際は十分な距離を取り、審判・選手と握手は行わない |
| □ | 意識的に試合中の声出しをしない |
| □ | コートサイドには各自バッグ等を持参し、飲み物も各自のバッグに収容する |
| □ | ラケット、タオルの貸借をしない |
| □ | 汗をコート・コートサイドに投げることは絶対にしない |
| □ | 汗拭きはモップもしくは所定の用具を使用し行う |
| □ | 飲料を万が一溢したときにはモップで拭き取る（自身のタオルを使用しない） |
| □ | シューズの裏を手で拭くことはしない |
| □ | プレーヤーまたはコーチとハイタッチ等を行わない |
| □ | コーチングは一定の距離を保った上で、必要最小限に短時間で行う |
| □ | 更衣室での密を避けるためにも定員が設定されている場合は遵守する |
| □ | 更衣室では着替えのみとし、シャワー・ロッカーは使用しない |
| □ | 施設にある手指乾燥機は使用しない |
| □ | 試合が終了したら（負けたら）、試合を観戦や応援をせずに、速やかに帰宅する |
| □ | 全てのゴミの持ち帰り自宅で処分する（感染症拡散防止の観点から） |

感染症対策を遵守し、37.0℃以上あるなど体温に異常がみられる場合や、体調が優れない場合に

は大会会場へ行かずに棄権してください。クラスターを発生させないこと、最優先です。